

■ 「健康とスポーツ」 事業創造会議

- [日 時] 平成 22 年 11 月 12 日 (金) 13:00-15:00
[会 場] ホテル ベルナティオ/まんさく
[主 催] 事業創造大学院大学
[参加者数] 45名 (自治体、産業団体、病院、企業、大学他)
[内 容]



「健康・スポーツ」と「農村・農業」の融合による、地域複合アグリビジネスの創造と次世代ツーリズムの具現化について、円卓会議形式で議論した。

【会議概要】

- 「スポーツ屯田村」事業推進について
 - ・集まってくれる人達は喜びや楽しみを享受しているが、それをどのように伝えるか方法が解らない。
→ICTを活用した情報発信が必要。単純に「喜び」「楽しみ」を伝えることが重要。
 - ・スタートアップが需要なので、象徴的なイベントを企画する必要がある。
→JRと共同は可能か？ 他の案件との連携で可能と思われる。
 - ・会員募集に際し、イメージキャラクターとして名誉村長を推薦する。
→日本人大リーグ第1号の村上雅則（マッシー村上）さんを推薦した。
- 「越後妻有 百歳道場」について
 - ・若い人が積極的に関ってくれることは、本当に嬉しい。
 - ・地域の健康体制（人や施設）の支援を含め、協働していきましょう。
 - ・集客について質問：板橋区との連携等、新宿区・品川区の商店街連合会と連携を図り、商店街単位での集客を計画している。（防災グリーンツーリズムも念頭においている）

【議論を通じて新たに発見された健康ビジネスの可能性・課題等】

- 地理的不利はない。十分に首都圏を狙える距離（時間）である。
- 感動や喜びを素直に伝える情報発信方法を充実させる必要がある。
- 名誉村長推挙により、広報宣伝を積極的に行なう。
- 百歳道場実現のために、専属トレーナーが移住して事業を行なう。



【課題解決のために必要と思われる方策】

- 事業推進の鍵は、スタートアップに有る。象徴的なイベントの実施。
- 十日町スポーツコミッションの積極的な活動が鍵である。
- 地域の既存組織（地域資源）との協働が重要である。

【決定・同意・確認事項】

- スポーツ屯田村名誉村長に「村上雅則氏」を推挙することを決めた。
(十日町市スポーツコミッションの総会で承認されてから就任。)
- 安藤祐子氏が、「越後妻有 百歳道場」をテーマに<内閣府地域社会雇用創造事業《ふるさと起業塾》農村の6次産業起業人材育成プロジェクト>にエントリーすることを承認した。

主催者	事業創造大学院大学	関連リンク先： http://www.jigyo.ac.jp/
	TEL：025-255-1250	